

<画家も愛したヒマワリ>



熱く照り付ける太陽をまっすぐ見つめて咲く「ヒマワリ」はまさに夏の象徴。黄色く色付いた花は、見ているだけで元気が湧き出るような力強さがあります。ヒマワリは漢字では「向日葵」と表記されます。また、「日輪草」や「日車」という別名を持っており、どの名前も太陽に由来したものです。太陽とヒマワリは切っても切れない関係であると言えるでしょう。

そんなヒマワリの魅力に多くの画家たちも惹かれ、その中でもゴッホは生涯に12点も「ひまわり」を描いています。南フランスのアルル滞在時に盛んに描かれ、ゴッホにとってヒマワリは明るい南フランスの太陽、ひいてはユートピアの象徴であったといわれています。また、「睡蓮」で有名なモネは自然や植物をこよなく愛し、数々の名作を残しその中に「ひまわり」も描いています。フランスジヴェルニーにある有名な「モネの庭」でも夏になるとたくさんのヒマワリが咲いていることでしょう。その他にもゴーギャンやマティスなど偉大な多くの画家たちが描いています。

この時期、フラワーショップの店頭はヒマワリの明るいビタミンカラーで彩られます。ヒマワリの魅力に惹かれた偉大な画家たちのように、芸術家気分であくさんのヒマワリを飾ってみるのも楽しいものです。きっとヒマワリがいつもとは違う素敵な空間を演出してくれるはず。そして改めて偉大な画家たちに触れてみませんか。遠い昔の画家たちと共に、いつの時代でも心惹かれてやまないヒマワリを楽しんでみてはいかがでしょうか。